

将来はバイオマス発電で 臭気問題も解決へ！

神奈川中央養鶏農業協同組合

50kW(鶏舎) + 15kW(直売所)

鶏舎太陽光発電所 / 直売所太陽光発電所



神奈川県西部の丘陵地で約60万羽の鶏を育てながら、パルシステムの『産直たまご』の産直産地のひとつとして、組合員のみなさんへ新鮮でふっくらとした卵をお届けしています。広大な鶏舎の屋根を活用して太陽光発電ができないか発想したのは、東日本大震災後の原発事故を目の当たりにしてからでした。私たちは協同組合なので、その組合員である生産者一人ひとりの理解も重要でしたが、多くの賛同を経て現在「パルシステムでんき」に電気の供給を続けています。将来的には、鶏たちのフンを活用したバイオマス発電にも着手したいと夢を膨らませています。もし実現できれば、長年課題だった臭気問題の解決にもなるんです。地域とともに生きる——が私たちのモットー。電気事業は、私たち養鶏農家にとって希望ある取り組みなんです。



彦坂誠さん